

道路の整備に関する プログラム

一戸町
平成31年3月

I 総論

計画の概要

■ 計画策定の目的

- ・ 一戸町では、2019年度から新たな「第6次一戸町総合計画」を策定し、それに基づいて政策を推進していきます。
- ・ 多くの道路整備要望が寄せられていますが、少子・高齢化が進行する中、道路整備の財源確保はより一層厳しくなることが予想されます。
- ・ 今後の道路整備は重点的投資や建設コストの縮減、効果的な事業の実施が重要となり、より一層計画的かつ効率的に取り組む必要があります。
- ・ 以上から、近年の道路をとりまく環境の変化に応じた、道路整備の基本方針、事業箇所等を明示した「道路の整備に関するプログラム」を策定し、今後の道路整備に取り組んでいきます。

■ 「道路の整備に関するプログラム」の内容

- ・ 道路整備の基本方針
- ・ 位置図(掲載事業：交付金による整備予定箇所)
 - ※ プログラムの内容は、現時点における目標であり、今後、財政状況、関連事業の進捗状況や地元合意形成等により、適宜見直しを行っていきます。

■ 計画期間

- ・ 2019年度～2026年度(7年間)

■ 計画の位置付け【上位計画】

第6次一戸町総合計画(2019～2026)

■ 基本構想

基本構想は、おおむね30年後に実現していきたい一戸町が目指す姿を描いた『基本理念』と、それを実現するためにこれからの8年間で取り組む方向性を定めた『基本目標』で構成します。

■ 基本理念

おおむね30年後に実現していきたい一戸町が目指す姿を描いたもので、柱として3つの項目を定めています。

- (1) みんなが生き生きと繋がって賑わいをつくり出しているまち
- (2) みんなが自然や文化がもつ魅力を引き出しているまち
- (3) みんなが安心でき、これからも暮らし続けたいと思うまち

■ 基本目標

一戸町が目指す姿を実現するために、これからの8年間に取り組む方向性を6つの項目で定めたものです。

- | | |
|----------------------|------------------------|
| ① 将来を担う人材を育むまちづくり | ② 人が集まり地域が活力にあふれるまちづくり |
| ③ 産業の振興と仕事を創出するまちづくり | ④ 歴史や文化を活かすまちづくり |
| ⑤ 元気で健やかに暮らせるまちづくり | ⑥ 生活しやすい環境が充実するまちづくり |

「道路の整備に関するプログラム」

- ・ 町の最上位計画である、「第6次一戸町総合計画」の政策方針を踏まえて想定するものです。

I 総論

生活しやすい環境が充実するまちづくり

道路、情報通信基盤、上下水道等のハード面の整備、ごみ処理、交通、消防防災体制等のソフト面の整備に取り組み、生活しやすい環境が充実するまちづくりを進めます。

■ 社会基盤施設の整備(基本目標 第6章 第2節より)

日常生活の利便性を維持するために、道路、橋梁の維持補修や上下水道、都市公園の維持管理を適切に行うとともに、各種施設において長寿命化に向けた計画的な整備を図ります。また、町内の交通利便性を維持するために、バス、鉄道、デマンド交通による一体的な交通網の維持確保を図ります。

(1) 町道の維持補修

安全な道路を維持していくために、定期的なパトロールによる早期の維持補修に努めるとともに、幹線町道を中心に改良及び舗装を進めます。➡「道路の整備に関するプログラム」

(2) 都市計画道路の整備促進

円滑で安全な道路網を形成するために、岩手県と協力し、国道4号一戸バイパスから役場へ通じる都市計画道路上野商法寺線の早期整備を目指します。

(3) 橋梁の整備

橋梁の長寿命化を図るために、町道に架かる橋梁の定期点検を行い、結果を基に老朽化の見られる橋梁を計画的に整備します。

(4) 水道施設の更新

水道水の安定供給を継続するために、水道管の更新及び浄水場の設備更新を計画的に実施します。

(5) 公共交通の充実

(1) バス、鉄道、デマンド交通により一体的に交通網を結び、効率的な移動を可能とするとともに、特に、日常的に公共交通を利用する高齢者及び通学生の利用負担の軽減を図ります。

(2) 鉄道で栄えた町にあり、地域の鉄道を守り育てていくマイレール意識その他鉄道に対する愛着を醸成するために、多くの町民が関わる町並行在来線利用促進協議会の活動を継続支援します。

Ⅱ 道路整備の基本方針

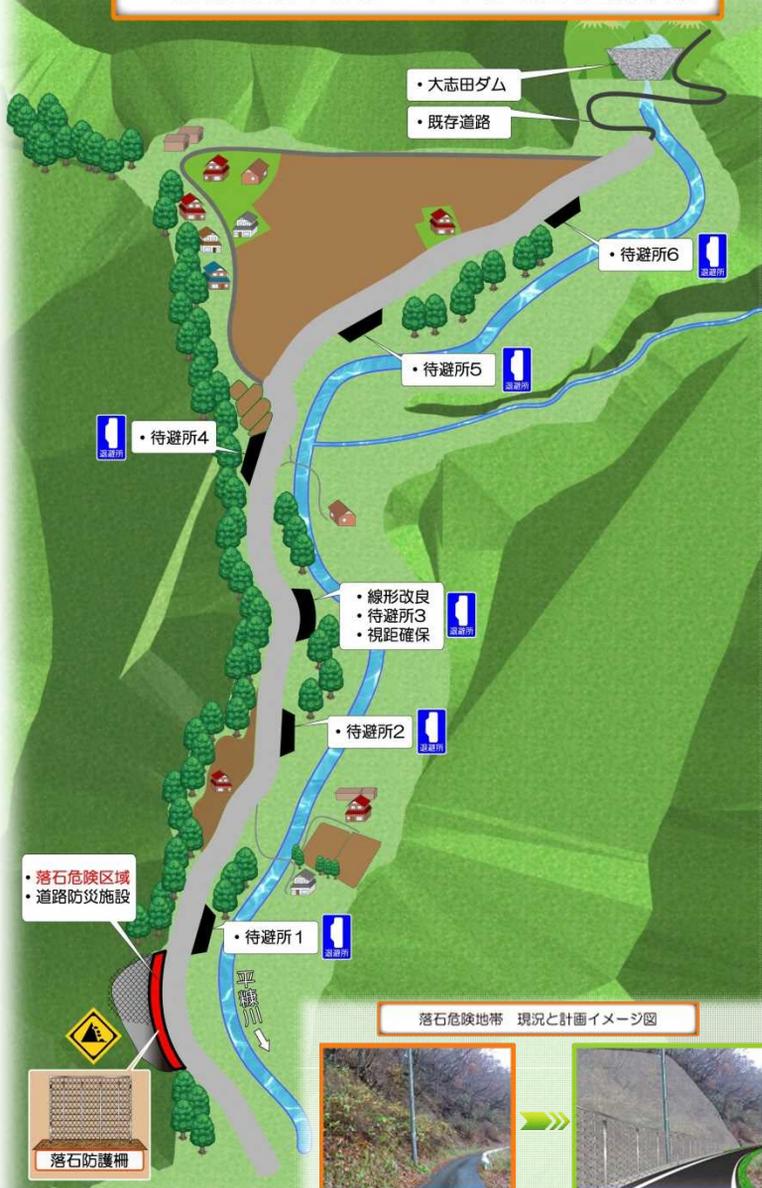
■ 地域の実表に応じた道路の整備

道路、情報通信基盤、上下水道等のハード面の整備、ごみ処理、交通、消防防災体制等のソフト面の整備に取り組み、生活しやすい環境が充実するまちづくりを進めます。

町道摺糠平糠線は中山字大畑地区～平糠字東地区を結ぶ全長約10kmの一級町道である。本整備対象区間約1.6kmは舗装幅員が平均2.5m程度と狭く、車両のすれ違い等地域住民の安全な交通空間の確保が困難な状況となっている。

これらの問題を解消すべく局部的な急カーブの線形改良、待避所の設置などの1.5車線の道路整備を行ない交通の安全性、快適性を確保するため実施するものです。

一級町道摺糠平糠線 1.5車線の道路整備事業



待避所6 現況と計画イメージ図



待避所5 現況と計画イメージ図



待避所4 現況と計画イメージ図



待避所3 現況と計画イメージ図



待避所2 現況と計画イメージ図



待避所1 現況と計画イメージ図



落石危険地帯 現況と計画イメージ図



